

# 「住宅再建推進協いわたて」

ニューズNO. 7 (発行：15年1月9日)

(協議会事務局)

岩手県生協連

岩手県滝沢市土沢 220-3

TEL) 019-684-2225

FAX) 019-684-2227

http://iwate.kenren-coop.jp

頑張り  
ました～!

**県内署名 14万6,393筆!** (1月6日現在)  
**東北や全国との合計 52万5千筆に達しました。**  
**さあ、この署名をもっていよいよ国会請願です!**



協議会では、9月11日に発足以来4ヶ月ぶりに署名集計と今後の方針を話し合うための会議を1月8日に開催しました。

「この運動に大賛成し署名をスタートさせ6千筆以上の協力をいただいた(県婦人団体協議会)」、「最初は苦勞をしたが被災地域が本当に頑張ってくれ、制度拡充への思いはどんどん強くなった(いわて生協)」など活動交流では署名への反応や被災地の厳しい現状を交流しました。

今後は、少しでも多くの県選出の国会議員に紹介議員や運動への協力をお願いし、通常国会の早い時期に請願することを確認しました。

## 「やってくれてありがとう!」の声ももらった署名は初めて!

(署名運動を振り返って、各団体からの発言から)

署名への感謝の手紙が届いたり全国からも「他人事でない」と協力をもらった。仮設を出て我が家に戻るのが一番の復興。その思いが10万9千の署名につながった。(いわて生協)

家建築に木材使用は15~25%。県内木材を安くしても他の資材高騰が被災者を苦しめている。(森林組合)

新聞を見て急ぎ署名を送ってくれた方もいた。52万の願いを何としても制度拡充に!(岩手県生協連)

漁業者は仮設にばらばらに暮らしているため、一人ひとりから署名を集めるのは、予想に反してかなり苦勞した。(県漁連)



もう4年も応急仮設暮らし。災害公営住宅に移るにも家賃が払えるか心配する高齢者世帯が増えている。(救援復興県民会議)

### 「被災者生活再建支援制度の拡充を求める署名運動推進協いわたて」の今後の運動

1. 署名を提出するため、県内選出の国会議員の皆さんに1月中に紹介議員のお願いをします。
2. 沿岸市町村議会へも3月議会へ請願します。
3. 国に対しては「被災地への交付金の増額を要求」し、岩手県がその交付金で住宅再建のための独自支援金を増やすよう、2月の県議会に請願します。資材高騰で住宅再建がますます困難になっている実情を反映するよう要求します。

お願い：署名は、1月いっぱい回収しますので、事務局までどんどんお寄せください。

署名集約を終了した団体は、署名を事務局まで郵送でお送り願います。